

令和3年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立九段生涯学習館	所在地	千代田区九段南1-5-10
-----	--------------	-----	---------------

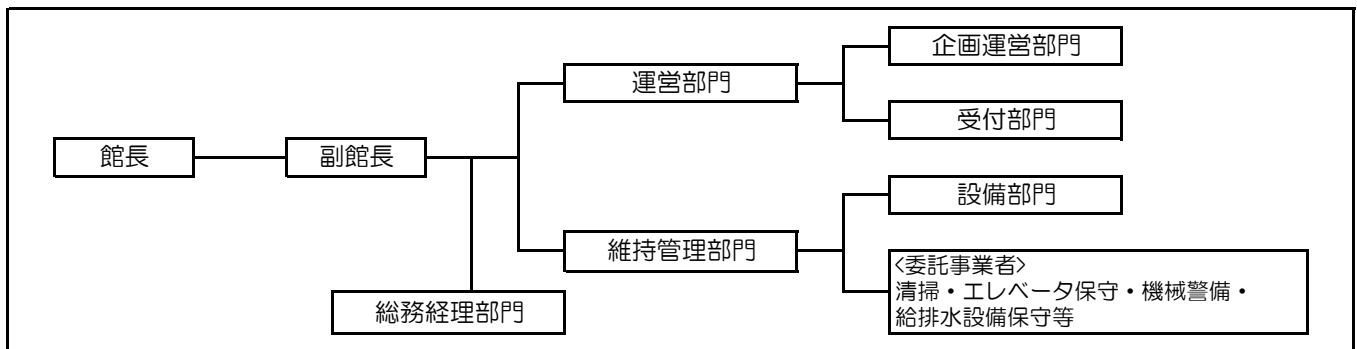
1 指定管理者の概要

名称	ミスノグループ		
代表団体	美津濃株式会社	代表者	代表取締役 水野 明人
所在地	大阪府中央区北浜4丁目1番23号		
構成団体1	株式会社小学館集英社プロダクション	代表者	代表取締役社長 都築 伸一郎
所在地	千代田区神田神保町2丁目30番地		
構成団体2	大星ビル管理株式会社	代表者	代表取締役 寺島 剛紀
所在地	文京区小石川4丁目22番2号		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	区民（区に住み、働き、学ぶ全ての人々をいう。以下同じ）の生涯学習の振興を図ることを目的とし、生涯学習活動を実践できる場の提供及び支援に関する事業を行う
管理業務の内容	(1) 生涯学習館の施設の利用承認に関すること。 (2) 生涯学習関係団体の育成及び連携に関すること。 (3) 生涯学習の指導及び助言に関すること。 (4) 生涯学習活動の普及及び推進に関すること。 (5) 施設の保守及び維持管理に関すること。 (6) その他館の事業及び管理運営に関し必要な業務。

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 施設利用

年度	総数	区民一般団体利用件数	事業利用件数
3	5,407	5,114	293
2	5,149	4,941	208
元	7,956	7,577	379

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館等（令和3年度）

- ・臨時休館：令和3年4月25日～令和3年6月20日
- ・時間短縮（窓口受付事務9時から19時まで、夜間の施設貸し出し利用休止）
令和3年4月12日～令和3年4月24日、令和3年6月21日～令和3年6月30日
- ・時間短縮（窓口受付事務9時から20時まで、夜間の施設貸し出し時間短縮）
令和3年7月1日～令和3年9月30日

イ 主催事業

区民自主企画運営講座（8講座 ※うち1講座中止）、生涯学習教養講座（4講座）、人材バンク活用講座（7講座）、講師派遣（41団体 ※うち1団体中止）、児童生徒余暇事業（3講座）、家庭教育学級（4講座 8回）、子ども自然教室、九段L.L.カフェ（3講座）、異世代交流事業（1講座）、区内生涯学習交流事業（九段フェス2022）、生涯学習ガイドブック（2,000部）、講座講習会バウチャー制度（393件）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

ウ 施設等の維持管理業務

- 建物、設備保守管理
- 施設清掃業務（害虫駆除含む）
- 警備業務

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料収入	87,883,940円	人件費	53,566,184円
施設利用料金収入	5,319,025円	委託費	11,066,280円
個別指定事業収入	1,544,450円	事業運営費	31,637,230円
独自事業収入	326,420円		
その他収入	347,295円		
合計（①）	95,421,130円	合計（②）	96,269,694円
収支差額（①－②）	-848,564円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響による長期休館や貸館時間の短縮など、利用者の皆様に様々なご不便とご心配をおかけした1年となった。一方、オンラインの活用や感染対策をしっかりと講じることで、計画した講座事業はほぼ実施することが出来た。特に、発表形式での実施を2年間見送っていた「九段フェス」は、オンライン（YouTube配信）にて再開し、参加者をはじめ視聴者、職員全員が一丸となり、コロナ禍でも明るい兆しを感じられる大変有意義なイベントになった。</p> <p>活動を自粛しているサークルも多いが、正しく恐れて適切に行動していくことが少しずつ身につけてきていると感じられる。また、コロナ禍での新たな活動方法を模索し、試行錯誤しながら前向きに活動を継続されている団体も見受けられる。施設として既存のサービスを続けるだけでなく、日々変化する新しい学びの形やサークル活動支援に対応していけるようより一層の努力を行いたい。</p>	<p>収支においても新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1年となった。収入においては、休館や時短開館による大幅な施設利用料の減少の他、事業費収入も定員を削減して実施した為に大幅に減少した。</p> <p>支出においては昨年度に続き、講座の事業のスケジュール調整等を多く行った為、人件費が予算を超えることになった。先行きが見通しづらい状況下で、減少する収入と超過する経費と削減可能な経費を見極めつつ、さらにサービスを低下させずに運用していくのは大変難しく、支出が収入を上回る結果となった。</p> <p>今後においても新型コロナウイルスの影響の他、物価や光熱費の高騰など様々な要因を考慮しつつ、適切な予算管理を行っていききたい。</p>

7 区による評価・業務改善要求

講座運営は、「家庭教育学級」等の比較的若い世代を対象とした講座を中心にオンライン講座の実施数が増えた他、「九段フェス」をYouTube配信するなど、利用者のニーズや社会情勢に対応した柔軟な運営がなされている。また、多くの講座で定員を上回る申し込みがあり、高い企画力で魅力的な講座が提供されている。

利用者懇談会では、スタッフ対応の評価が高い一方で、施設の貸出備品に関する要望が出されたため、利用者の声を伺いながら計画的な対応を求める。

8 今後の指定管理に区が期待すること

今後も生涯学習活動のツールとしてICTの活用が拡大することが予想されるため、メディア情報リテラシーを身に付ける学習機会の提供や、馴染みが薄い高齢者等への支援が充実することを期待する。